

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1990100180		
法人名	医療法人社団小羊会		
事業所名	医療法人社団小羊会グループホーム飯田		
所在地	甲府市飯田3-5-3		
自己評価作成日	平成23年2月4日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-yamanashi.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成23年3月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者一人ひとりの状態や嗜好を考慮した援助に心がけている。また、四季折々外出を通じて、季節の移り変わりや日常の変化を感じていただける生活の支援を行う。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

都市部の住宅街であり独居高齢者の多い地域にある。教育施設や放送局、商業施設もあり、適度な刺激になっている。広めの通路に共用空間を挟んで居室があり、広々と感じる。余計な飾り物がないのが、かえって普通の家の雰囲気を作っている。職員の対応にはわざとらしさがなく、利用者がのびのびと自分の思いや意向を表現できているように思われた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

事業所名 医療法人社団小羊会グループホーム飯田

[セル内の改行は、(Altキー) + (

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「入居者1人ひとりが地域の一住民として社会参加できるように援助します」をはじめに、4つの理念を掲示板に掲示し意識付けを共有し可能な限り実践しています。	「入居者1人ひとりが地域の一住民として社会参加できるように援助します」をはじめに、4つの理念を掲示板に掲示し意識付けを共有し可能な限り実践しています。	理念を2箇所に掲示し、「体力を低下させない」「互いに支え合う共同生活を支援する」などの一つ一つの項目に対しオリエンテーションで具体的に話し合っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	開設当初から、組長会議に参加している。地区のお祭り・防災訓練・運動会等に参加し、利用者が地域の住民と触れ合う機会を設けている。自治会にも加入しています。	開設当初から、組長会議に参加している。地区のお祭り・防災訓練・運動会等に参加し、利用者が地域の住民と触れ合う機会を設けている。自治会にも加入しています。	自治会の定例会(月一回)や総会の場所に2階を提供している。老人クラブが開催する物作り(箸入れなど)に利用者も一緒に参加している。地区の独居高齢者のマップ作りにも協力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員・地区の協力により、地区の老人会の皆様を招いて、講師による研修会の開催、工作等の交流会を実施しています。	民生委員・地区の協力により、地区の老人会の皆様を招いて、講師による研修会の開催、工作等の交流会を実施しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では自己評価・外部評価の報告をするとともに、改善計画を話し合い意見を求めそこの意見を、日頃のサービス向上に活かしております。	運営推進会議では自己評価・外部評価の報告をするとともに、改善計画を話し合い意見を求めそこの意見を、日頃のサービス向上に活かしております。	利用者、その家族、自治会長、民生委員、地域包括などが参加し、スプリンクラー設置の報告の他、行事の告知は早めに、梅見の場所は近いところに、レクリエーションに使う椅子は肘掛けのある椅子に、など様々な意見を頂いて、サービスに反映させている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要に応じて連絡をとっています。運営推進会議にも参加していただいております。	必要に応じて連絡をとっています。運営推進会議にも参加していただいております。	退去時、他施設との連携についてや、利用者に対する行為が何処まで医療行為になるかなど、折に触れ、細かい問題について相談して頂いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月に一回行っている。全体会の中で定期的に勉強会は行っています。外部の研修にも参加。個々に職員が身体拘束に対して理解を深めるようカンファレンスの中に取り入れ、委員会の設置も検討しています。	月に一回行っている。全体会の中で定期的に勉強会は行っています。外部の研修にも参加。個々に職員が身体拘束に対して理解を深めるようカンファレンスの中に取り入れ、委員会の設置も検討しています。	身体拘束についての委員会の設置を予定している。スピーチロックについては、「ダメ、ダメ」とか「～しないで下さい」とかの表現は使わず、その行為の目的をさかのぼって考えることで、気持ちに添った対応をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束の勉強会の際、高齢者の尊厳、モラルや法令遵守について理解を深めています。	身体拘束の勉強会の際、高齢者の尊厳、モラルや法令遵守について理解を深めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用している利用者があります。一部職員は制度について理解しております。更なる理解の為、外部の研修にも参加しております。	成年後見人制度を利用している利用者があります。一部職員は制度について理解しております。更なる理解の為、外部の研修にも参加しております。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約にいたるまでに、ホームの考えや取り組み内容をきちんと説明。運営規定・重要事項等わかりやすく説明し、不明な点がないように不安にならないように理解していただき同意を得ます。要望や疑問についても聞いております。	契約にいたるまでに、ホームの考えや取り組み内容をきちんと説明。運営規定・重要事項等わかりやすく説明し、不明な点がないように不安にならないように理解していただき同意を得ます。要望や疑問についても聞いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議には、全員の出席を募り、多くの方の参加を頂き意見等を聞き、来訪時には個別の対応をしております。出された要望・意見は職員に伝達しカンファレンスでは話し合い運営に反映しています。	運営推進会議には、全員の出席を募り、多くの方の参加を頂き意見等を聞き、来訪時には個別の対応をしております。出された要望・意見は職員に伝達しカンファレンスでは話し合い運営に反映しています。	個々の利用者についての要望は多いが、運営に関する意見は多くはない。食事会と関連させて利用者を家族と一緒に参加できる行事を、意見や要望を聞く機会として利用している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会や、カンファレンス等で、職員の要望を聞く機会を設けています。職員同士の連携や和が崩れないように努めています。また、年2回個別面談を行っております。	全体会や、カンファレンス等で、職員の要望を聞く機会を設けています。職員同士の連携や和が崩れないように努めています。また、年2回個別面談を行っております。	個別面談では互いに十分話し合い、全体の運営を踏まえた上で各自の目標を立てている。職員と管理者との距離は近く、提案や相談も気楽に行える状況である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意識が向上するように、職員個々が自己目標を立て自己評価をしてもらいます。更に個人面談等を行い、個々の実績や実力を把握して定期的に、給料・賞与・助成金支給の目安にしています。個々にあわせ外部研修・内部研修を推進しております。	職員の意識が向上するように、職員個々が自己目標を立て自己評価をしてもらいます。更に個人面談等を行い、個々の実績や実力を把握して定期的に、給料・賞与・助成金支給の目安にしています。個々にあわせ外部研修・内部研修を推進しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員各自に応じた資格取得も含めて、学びの場を推奨。外部の研修にも積極的に参加する機会を作っています。内部の勉強会も計画的に毎月実践しています。	職員各自に応じた資格取得も含めて、学びの場を推奨。外部の研修にも積極的に参加する機会を作っています。内部の勉強会も計画的に毎月実践しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	甲府市主催のグループホーム交流会に参加、研修を通じてサービスの向上に取り組んでおります。	甲府市主催のグループホーム交流会に参加、研修を通じてサービスの向上に取り組んでおります。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が安心したサービスを利用するために、本人・家族や職員と相談し、思いを受け取り環境に馴染めるように支援しております。	本人が安心したサービスを利用するために、本人・家族や職員と相談し、思いを受け取り環境に馴染めるように支援しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思い、背景をよく聞いた上で、ニーズの再確認を行い、本人にとって一番よいサービスを一緒に考えながら信頼関係を築いております。	ご家族の思い、背景をよく聞いた上で、ニーズの再確認を行い、本人にとって一番よいサービスを一緒に考えながら信頼関係を築いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネジャー・相談員・包括などと連携をとり、その方にあったサービスの利用を勧めています。	担当ケアマネジャー・相談員・包括などと連携をとり、その方にあったサービスの利用を勧めています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごしえあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員主導の支援ではなく、ともに生活しているを、第一に念頭に置き、コミュニケーションを大切にし、支えあいながらの生活を目指す。	職員主導の支援ではなく、ともに生活しているを、第一に念頭に置き、コミュニケーションを大切にし、支えあいながらの生活を目指す。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と本人の関係性が途切れないように、家族と触れ合う時間をできるだけとっていただくようお願いし、一緒に支えあう関係作りに努めている。家族参加の行事を行っています。	家族と本人の関係性が途切れないように、家族と触れ合う時間をできるだけとっていただくようお願いし、一緒に支えあう関係作りに努めている。家族参加の行事を行っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	従来の生活時と変わらない生活ができるよう、アセスメントから知りえた情報を元に行きつけの美容院・自宅・商店・友人等、家族の協力のもとできる限り交流する機会を設け支援しております。	従来の生活時と変わらない生活ができるよう、アセスメントから知りえた情報を元に行きつけの美容院・自宅・商店・友人等、家族の協力のもとできる限り交流する機会を設け支援しております。	ほとんど独居の方なので近所の人、同じ職場だった人、友人などが訪ねてくる。行きつけの美容院から迎えに来て行っている方もいる。月に一回程度、自宅に行き花に水をやるのを手伝っている。そういう環境作りやお手伝いをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が会話を楽しめるよう職員が橋渡しに努め、一緒に多くの会話を持つようになっています。利用者同士が支えあい仲良くなる調整役になり関係を見守っています。	利用者同士が会話を楽しめるよう職員が橋渡しに努め、一緒に多くの会話を持つようになっています。利用者同士が支えあい仲良くなる調整役になり関係を見守っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	状況に応じて、相談支援しフォローしております。	状況に応じて、相談支援しフォローしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	馴染みの関係ができてくると、思いや希望を日々の暮らしの中から聞く機会が持てるようになります。困難な場合は利用者同士の会話の中から、家族との話の中から、本人の思いを「見つける」「気づく」ように努めております。	馴染みの関係ができてくると、思いや希望を日々の暮らしの中から聞く機会が持てるようになります。困難な場合は利用者同士の会話の中から、家族との話の中から、本人の思いを「見つける」「気づく」ように努めております。	日常生活のエピソードをヒントにして意向を酌み取って接している。困難な場合は表情や行動に表れているものを最大限考慮し、時には読書や散歩などで気分転換を図って、気持ちを落ち着かせるような配慮をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	環境が変わることでの、精神的負担を考慮し日常使用していた家具等なじみ品物を、持参して頂き、今までなじんできた生活環境に近くなるように努めています。	環境が変わることでの、精神的負担を考慮し日常使用していた家具等なじみ品物を、持参して頂き、今までなじんできた生活環境に近くなるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	今までの生活ベースを大切に、その方のできることを把握して、職員間で情報の共有をし職員主導にならないように努めています。アセスメントを考慮し、本人の思いを聞きながら、実際の動きの確認をしております。	今までの生活ベースを大切に、その方のできることを把握して、職員間で情報の共有をし職員主導にならないように努めています。アセスメントを考慮し、本人の思いを聞きながら、実際の動きの確認をしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にモニタリングを行い、状況変化がみられた時にカンファレンスをおこなっています。本人の意向、家族の思い職員の意見を聞き、計画作成を行っています。	定期的にモニタリングを行い、状況変化がみられた時にカンファレンスをおこなっています。本人の意向、家族の思い職員の意見を聞き、計画作成を行っています。	3か月に一度、利用者家族と話し合い、ここで暮らさせたいという家族の思いに沿って、関係者と計画を作成したこともある。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	口頭での引き継ぎと、職員同士連絡ノートを利用し、確実に申し送りを行います。個々の記録は、ケアプランに沿った内容としています。職員の意見・疑問はカンファレンスシートを会費で使用し、介護計画作成に活かしております。	口頭での引き継ぎと、職員同士連絡ノートを利用し、確実に申し送りを行います。個々の記録は、ケアプランに沿った内容としています。職員の意見・疑問はカンファレンスシートを会費で使用し、介護計画作成に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常にニーズの変化を捉えながら、介護保険法の枠内で、可能な限り対応、地域行事への参加、利用者の希望による外出を行っております。	常にニーズの変化を捉えながら、介護保険法の枠内で、可能な限り対応、地域行事への参加、利用者の希望による外出を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会・愛育会・老人クラブと交流し、必要に応じて包括にも参加して頂き、施設の在り方の理解に努めております。	自治会・愛育会・老人クラブと交流し、必要に応じて包括にも参加して頂き、施設の在り方の理解に努めております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本は、家族対応だが、受診前には心身の状態の報告を家族に連絡し、スムーズな受診ができるよう支援を行います。また、必要に応じて直接連絡することもあったり、通院介助や往診のケースもあります。	基本は、家族対応だが、受診前には心身の状態の報告を家族に連絡し、スムーズな受診ができるよう支援を行います。また、必要に応じて直接連絡することもあったり、通院介助や往診のケースもあります。	歩いていた人が体力が落ちて車椅子になってしまったので、家族や職員との話し合いの中で、受診から往診に切り替えた事例があった。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が常駐していない為、必要に応じて訪問看護師へ相談することがあります。	看護師が常駐していない為、必要に応じて訪問看護師へ相談することがあります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はサマリーを作成し情報提供しています。退院に向け担当医師や看護師、家族と密に連絡を取り連携しながら、入院中病院に訪問し、不安の除去に努めると同時にアセスメント・ケアプランを作成して、家族と連携しながら退院支援しています。	入院時はサマリーを作成し情報提供しています。退院に向け担当医師や看護師、家族と密に連絡を取り連携しながら、入院中病院に訪問し、不安の除去に努めると同時にアセスメント・ケアプランを作成して、家族と連携しながら退院支援しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りに関してはまだ行っていません。重度可能性がある場合は、家族・医師・管理者が今後の方向性を話し合い、医療機関との連携、支援は考えております。	看取りに関してはまだ行っていません。重度可能性がある場合は、家族・医師・管理者が今後の方向性を話し合い、医療機関との連携、支援は考えております。	重度化した場合は、病院に入れてくれという家族も多いが、まだそうした事例はない。往診はしていただいているが、看護師がいないこともあり、現在は入院して頂く方針だが、地域包括や病院とは前向きな話し合いをしている。	グループの方針には「終末期医療として福祉施設におけるホスピスにも取り組んでいく」との記述もあり、医療機関との連携、支援に今一歩踏み込んだ取り組みを期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルに沿って対応できるようトレーニングしており、外部の研修にも参加しています。消防署の救護訓練参加をしております。	緊急時マニュアルに沿って対応できるようトレーニングしており、外部の研修にも参加しています。消防署の救護訓練参加をしております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災避難訓練は夜間想定にて、消防署の協力のもと実施。自治会の防災訓練にも参加。地区の避難場所近く(報告)へ、可能な利用者とは散歩にでています。現在、地区の協力のもと消防署の指導による火災報知器を使用した訓練を計画中です。	火災避難訓練は夜間想定にて、消防署の協力のもと実施。自治会の防災訓練にも参加。地区の避難場所近く(報告)へ、可能な利用者とは散歩にでています。現在、地区の協力のもと消防署の指導による火災報知器を使用した訓練を計画中です。	調査中の地震にも、職員の方は冷静に利用者を玄関まで誘導していた。対策や訓練が及ばない災害があることが明らかになったが、我が身を省みず利用者に対応する姿は介護従事者のモラルの高さを示すものだった。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴時や脱衣時、トイレ誘導、失禁時の対応等羞恥心の配慮やプライバシーの確保等について、職員報告を行っている。全体会の中でも定期的に職員間で確認し、問題意識のピックアップや振り返りの中で向上しています。	入浴時や脱衣時、トイレ誘導、失禁時の対応等羞恥心の配慮やプライバシーの確保等について、職員報告を行っている。全体会の中でも定期的に職員間で確認し、問題意識のピックアップや振り返りの中で向上しています。	入浴や脱衣時はタオルを使って隠すようにしている。本人からもプライバシーについて要求がある。県外の人もいるので、方言は日常的な介護には相応しくないと考えている。失敗時には、「お手伝いしましょうか」とか「一緒にやりましょう」とか声を掛けるとスムーズにいくことが多い。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者とのコミュニケーションを大切にし、何をしたいか、何ができるかアセスメントから知りえなかった「情報」「思い」を探り、声かけしながら希望を言える環境づくりに努めております。	利用者とのコミュニケーションを大切にし、何をしたいか、何ができるかアセスメントから知りえなかった「情報」「思い」を探り、声かけしながら希望を言える環境づくりに努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の体調や気分を見極め、食事時間・お部屋での食事や入浴時間。買物希望の方の支援。外出等その日のペースにあわせてできる限り支援を行っております。	本人の体調や気分を見極め、食事時間・お部屋での食事や入浴時間。買物希望の方の支援。外出等その日のペースにあわせてできる限り支援を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の使用していた化粧品や好みの洋服など家族に用意していただいたり、本人と買物に行き好みの化粧品や洋服を購入して、その人らしさが失われないようにしております。髭剃りは可能な限り本人が行い、困難な場合は支援しております	本人の使用していた化粧品や好みの洋服など家族に用意していただいたり、本人と買物に行き好みの化粧品や洋服を購入して、その人らしさが失われないようにしております。髭剃りは可能な限り本人が行い、困難な場合は支援しております		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホーム庭の菜園に野菜を育てています。収穫し食べることを楽しみにしております。食材の買物にも一緒に出かけたり、洗米、汁物調理、片付け、配膳洗ひ物の一連の流れを必要な限り、共にしております。	ホーム庭の菜園に野菜を育てています。収穫し食べることを楽しみにしております。食材の買物にも一緒に出かけたり、洗米、汁物調理、片付け、配膳洗ひ物の一連の流れを必要な限り、共にしております。	できる方は限られているが、声を掛けると片付けや食器洗いもして頂ける。レクレーションも兼ねてちらし寿司、ほうとう、いなり寿司などを作って頂いた。タマネギ、ほうれん草、スイカ、ネギ等を一緒に植えたり、草取りなどしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一食あたりのカロリーを把握しており、食事量や水分チェックを表にして確認しております。体調変化時・発熱時や排便コントロールに活用しております。	一食あたりのカロリーを把握しており、食事量や水分チェックを表にして確認しております。体調変化時・発熱時や排便コントロールに活用しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施しております。声掛け誘導し、できる限り本人にさせていただきます。不足箇所に関しては職員が行います。夜間は義歯の方は、ポリドントにて洗浄・除菌して清潔保持を行っております。	毎食後口腔ケアを実施しております。声掛け誘導し、できる限り本人にさせていただきます。不足箇所に関しては職員が行います。夜間は義歯の方は、ポリドントにて洗浄・除菌して清潔保持を行っております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用。排泄パターンを知り時間や習慣に沿ってトイレ誘導声掛けを行い、トイレでの、気持ちよい排泄に繋げております。	排泄チェック表を使用。排泄パターンを知り時間や習慣に沿ってトイレ誘導声掛けを行い、トイレでの、気持ちよい排泄に繋げております。	排泄チェック表を使用して、適宜の誘導声かけで、病気が理由でオムツの方もいるが、リハビリパンツから普通のパンツ利用になるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の体操や、その方にあわせた水分摂取量を心がけ、個々の排便パターンを確認し、食事・飲料・ヨーグルトやヤクルト等を摂っていただいております。	毎日の体操や、その方にあわせた水分摂取量を心がけ、個々の排便パターンを確認し、食事・飲料・ヨーグルトやヤクルト等を摂っていただいております。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の希望を聞きながら通常は、家庭風呂を使用しております。ときに、気分を変え大浴室の炭酸温泉も使用するときもあります。	入浴の希望を聞きながら通常は、家庭風呂を使用しております。ときに、気分を変え大浴室の炭酸温泉も使用するときもあります。	本人の希望により、午前・午後とも入浴可能。一対一対応が基本だが、好みで数人一度に入ることもある。最低週に二度は入浴してもらっている。自宅の時に入浴の習慣を失っている人もいるので、改めて習慣づけすることも意図している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	アセスメントに基づき、生活習慣を把握した上で、生活リズム作りを行っておりますが、その日の状態(外出等)により、休息が必要な場合取り入れております。夜間眠れない方はフロアにて職員と眠くなるまでお話し、個別に配慮しております。	アセスメントに基づき、生活習慣を把握した上で、生活リズム作りを行っておりますが、その日の状態(外出等)により、休息が必要な場合取り入れております。夜間眠れない方はフロアにて職員と眠くなるまでお話し、個別に配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	家族、医療関係者より、服薬内容の情報を頂き、薬の情報はファイリングしてあり、職員がいつでも確認できるようにしてある。受診後薬の変更があった場合必ず申し送りを行い、状態等の観察を行っております。	家族、医療関係者より、服薬内容の情報を頂き、薬の情報はファイリングしてあり、職員がいつでも確認できるようにしてある。受診後薬の変更があった場合必ず申し送りを行い、状態等の観察を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人らしさが活かせるように、生活暦のアセスメントから役割につなげるようにしております。掃除・洗濯・炊事・庭の草取り個々にできずしてみたいことを探すようにしております。また、季節に応じた花見・いちご狩り・葡萄狩り等行っております。	その人らしさが活かせるように、生活暦のアセスメントから役割につなげるようにしております。掃除・洗濯・炊事・庭の草取り個々にできずしてみたいことを探すようにしております。また、季節に応じた花見・いちご狩り・葡萄狩り等行っております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出レク以外にも日常的に散歩・買物・ドライブ外食など行っております。希望があれば自宅までの外出支援もしております。また、地区の行事にも参加していただいております。	外出レク以外にも日常的に散歩・買物・ドライブ外食など行っております。希望があれば自宅までの外出支援もしております。また、地区の行事にも参加していただいております。個別に家族の協力のもと、地域のパッチワーク教室に参加されております。	冬期、毎日散歩する人は2、3人。30分ぐらいを平均とする。希望があれば、化粧品や趣味に使う毛糸などを一緒に買いに行く。車椅子で行く人もいる。ドライブ・外食に行くこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で財布の管理をされ買物の際、支払されている方もおりますが、基本は事務所管理としてあり、外出時や買物時に職員が付き添いお金を渡し買物されております	ご自分で財布の管理をされ買物の際、支払されている方もおりますが、基本は事務所管理としてあり、外出時や買物時に職員が付き添いお金を渡し買物されております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話が事務所窓口に設置してあり、希望により自宅・親戚への電話は支援しております。手紙やハガキの希望があれば、支援できる体制としておりますが、現在希望の方はおりません。	公衆電話が事務所窓口に設置してあり、希望により自宅・親戚への電話は支援しております。手紙やハガキの希望があれば、支援できる体制としておりますが、現在希望の方はおりません。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じられる大きな窓が、フロアにあり外の様子がみられます。庭には、木を植え花を育てております。廊下やフロアには、絵画を飾り、今は近隣の園児の絵も飾っております。	季節感を感じられる大きな窓が、フロアにあり外の様子がみられます。庭には、木を植え花を育てております。廊下やフロアには、絵画を飾り、今は近隣の園児の絵も飾っております。	自分の家のような雰囲気を目指し、あまり物や利用者の作品を飾ったりしていない。絵画があちこちに掛けられ、落ち着いた感じを作っている。共用空間も広く、見通しもよい。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用部分のフロアは、フローリングで椅子・テーブルスペースと、畳を敷いた和室部分から成っており、談笑したり午睡をされる利用者もおります。	ソファを置いて、休まれたり、会話を楽めるような場所を、考えております。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安心できるよう、可能な限り、今まで暮らしてきた居住空間の継続を考え、布団・鏡台・仏壇等の使用していた物を、もってきて頂き配置しております。	安心できるよう、可能な限り、今まで暮らしてきた居住空間の継続を考え、布団・鏡台・仏壇等の使用していた物を、もってきて頂き配置しております。	備え付けの物を少なくし、できるだけ家から持ってきた家具を置いてもらうようにしている。ベッド、タンス、仏壇などこれまで使ってきた物を持ってきて使用してもらっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内全てがバリアフリーとなっておりますが、その方のADL体調等に合わせ、適宣声掛け、居室ドア等の飾りを行っているが、今後も、更なる改善を目指しております。	施設内全てがバリアフリーとなっておりますが、その方のADL体調等に合わせ、適宣声掛け、居室ドア等の飾りを行っているが、今後も、更なる改善を目指しております。		